

梅雨明けビールがぶ飲み号

ブル通信

1807

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入
ご売却
車検
修理
査定
見積もり

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

ビール問題を考える！

人は一生にどれくらいのか？
ビールを飲むのか？

うむ、サケこそ我が人生であり、我が人生こそサケが
全てとまでは言わないが、かなりのウエイトを占める私
に取って、ふと考えたのであった。

毎日毎日、飽きもせず自宅に帰ったら真っ先に冷蔵庫
からビールを取り出し、ウグツ、ウグツとやらなければ
生きていく実感が掴めない私のような人間は、全日本人
のおおよそ73%程度を占めていると思うのである。まあ
数字は全くだいい加減であるわけだが、サケがない人生は
醤油がない刺身と一緒であり、味噌の入っていない味噌
汁のようなものであり、豚肉のない豚汁のようなものだ
と思うのである。（追加すると50代以上の人にはクリー
プのないコーヒーという表現がわかりやすいかもしれ
ない）このような考え方の人間は、かなり多いと思うの
であるが、夏も冬も変わらず、まずはビールから夕方を
始める私のような人間は果たして一生にどの程度のビ
ールの量を飲むのであるのか？考え出したら気になっ
て気になって仕方ないのである。

たしかだいたい以前にのような記載がある本を読んだ
記憶ががすかにあつて、自宅の書棚を片っ端から調べ直
してみたのであった。

蔵書（というほどでもないが）で最も多いのは池波
正太郎、次いで藤沢周平だがどちらも歴史ものなのでエ
ッセイ以外にビールが出てくることは考え難く、「あな
たもこれで簡単に金持ちになれる」的な本や「モテる
男はここがポイント」的な本も一応調べたが掲載され
ていないし、あまりに下らない内容なのでついでに捨て
て書棚はすっきりしたのであった。その中でムムッ、椎
名誠の本が数冊あるではないか！彼も名うての酒飲み
なので彼の本で読んだのではないだろうか？という事
で昔の椎名誠の本を読み返してみたのであった。ありま
したね。ありました。

いわゆる平均的な人間が18歳くらいでビールを飲み
始めたとは仮定する。（お酒は20歳からなので18歳で飲ん
ではいけないのであるが原文のママ）まあ量は多い時
もあるし少ない時もあるわけだが、70代くらいまで1
日にビール大瓶2本程度を飲んだとする。（俺はそんな
に飲まないよ。というが経済的にそんなに飲めない）か
なり飲む人の部類だと思うが、このような状態で生涯に
渡って飲んだ量の総量はなんとく25メートルプール1
杯程度らしい。

これを読んで私の感想はなんだ！そんな程度なの？
って思ったのであるが、人によつてはすごい量と思う
人もいるかもしれない。俺的にはなんとなく生涯に飲
む量だから東京ドーム5杯分とか8杯分とかその程度
は行くと思つたのであるが、なんだ！その程度なのか
？とおもつたのである。うゝむ、我がビール人生はたか
だか25メートルプール1杯分程度しかないのであるう
か！虚しい、あまりに虚しすぎる。俺の人生は25メー
トルプール1杯程度のものであつたのか！せめてせめて
25メートルプール1杯分+家庭用ビールプール3杯
分程度は飲んでから死にたいものである。

これで決まりだな キャンプやバーベキューで

虫を寄せない方法

そうなのだよ。今まで色々な虫を寄せ付けない方法
を実験してきた。蚊取り線香をメーカー別に実験した
り、あるいは蚊が来ないと謳い文句にしているスマフ
ォアプリーを複数導入して実験してみたり、本通信を長
く読んでいる人なら過去の涙ぐましい努力を覚えてい
る方もいると思う。

しかしながら過去、色々な実験を繰り返した中でど
うもこれが決定的だ、というような実験結果が得られ
なかつたのも事実である。しかしだ。しかしながら今年
の本通信はちよつと違うのである。この方法でうつと
おしい蚊や蛾などやその他のうつとおしい虫がよつて
くるのをかなりの確率で避けることができる方法を
ついにこれに見つけたのであつた。

これからの季節、キャンプだ！バーベキューだ！と
屋外での活動が多くなる中で本通信を読んで実践した

人はヒーローになれるのである。あなたもこれでヒー
ロ―だあ！ということでは早速ながらその方法の解説を行
うのである。

事の発端はLED電球などには虫は寄つて来にくい
という情報を掴んだところにあつた。さてこれは本当な
のだろうか？ということでは色々な文献を調べてみたの
である。文献と書くと大層な調べ方をしたように感じる
かもしれないが、実際はネットで検索してみたのである。
実際に実験したような記録はないのか？調べてみたの
である。そうしたらなんと俺よりも暇な人間がいたので
ある。LED電球の蛍光灯色とLED電球の電球色、つ
まり普通の蛍光灯や裸電球と同じ色のLEDと蛍光灯
と裸電球、さらに正確さを期すために蛍光灯は天井など
にあるものよりワンサイズ小さい10W相当、電球は60W
相当で明るさに差が出にくい状態で実験しようであ
る。結果はこれがすごい。白熱電球と蛍光灯に虫がワサ
ワサ集まつてきたようだがLEDにはほとんど虫が集
まつてこなかつたということである。ということではだ。
ここからがすごいところなのであるが、キャンプやバー
ベキューで魔法のように虫を集めず彼女や家族の尊敬
を受けるためにはだ、これを応用してさらに確実を期す
わけである。つまり蛍光灯タイプの電池式ランタン（ホ
ームセンターなどで安く売っている）これを少し離れ
たところにおいてあえてそこに虫を集めながら、近いと
ころはLEDタイプのランタンを使うわけである。

虫を遠くに集めながら近いところには来ないように
するという2段対策を取つて、どうだあ！これでまい
たかあ！などと威張り散らしてみるのである。

昔、この方法を当時通つていた東大の実験室で習つた
のである。などと口からでまかせを言つても10人に2人
くらいは信じる人も出るのではないだろうか？今年の
夏はこれでヒーローになるのである。